

平成 22 年 5 月 19 日現在

研究種目：基盤研究 (C)
研究期間：2007～2010
課題番号：19592527
研究課題名 (和文) 「身体感覚活性化マザークラス」に参加した女性の「産み育てる力」形成過程の分析
研究課題名 (英文) Analysis of "Power to give birth and to nurture" formation process of women who participated in maternity class for the enhancement of body sensation
研究代表者
佐藤 香代 (SATO KAYO)
福岡県立大学・看護学部・教授
研究者番号：80170736

研究代表者の専門分野：助産学

科研費の分科・細目：看護学・臨床看護学

キーワード：身体感覚・妊婦・マザークラス・産み育てる力・健康

1. 研究計画の概要

筆者は、情報に意思決定を委ねる「教室受講型」ではなく、また単なる「参加型」ではない「身体感覚活性化」に焦点を当て、五感を刺激することで妊婦が自らの身体を感じとることをめざした「身体感覚活性化マザークラス」を開発し、実践を重ね 10 年が経過した。140 名以上の女性がこのクラスから巣立ち、参加者の満足度は高くリピーターも多い。よってこのクラスは、出産、育児、さらにその後の妊娠にも、何らかの影響を与えていると考えられる。またこのクラスで得た感覚で起業した者、3～5 名出産し育児を楽しんでいる者、子どもを育む環境に目を向け市民活動に参加したり、育児サークルをつくりリーダーとして活躍している者など、積極的な行動を起こしていることが明らかになった。したがって「身体感覚活性化マザークラス」は、女性の「産み育てる力」を育む可能性が示唆された。

本研究の目的は、「身体感覚活性化マザークラス」が女性が親になる過程にどのように関与しているかを明確にし、さらにその結果

から、「産み育てる力育成のための妊娠期教育のモデル」を開発することである。

2. 研究の進捗状況

マザークラス卒業後 1 年から 5 年目の女性に半構成型インタビューを行い、母子の健康を調査した。内容は 1) 母子の現在の健康 2) 出産・保育の状況 3) 参加動機 4) 最も印象的であったメニュー 5) メニューの中で感じたこと 6) 感情・行動の変化 7) マザークラスが出産・育児、その後の生活に与えた影響である。

研究参加者は母子ともに健康で、全員母乳保育であった。出産形態はほとんどが自然分娩であった。最も印象に残っているメニューは「食」である。マザークラスがその後の人生に与えた影響には 5 つのカテゴリー【身体の声を聴く】【感謝する】【受け入れる】【あるがままに生きる】【社会に伝える】が抽出された。参加者はクラスのメニューを通じて身体感覚が敏感になり、それに合わせて身体を調整することを日常の中に取り入れていた。また身体の巧妙さに感動し、すべてのことに感謝する気持ちが持てるようになった

と答えている。身体の声を聴くようになると、自分の身体に起こる現象には必ず意味があるとして、今まで否定的にとらえていたものもそのまま受け入れられるようになった。さらに自分でコントロールできないものがあることを認め、あるがままに生きるという人生哲学を獲得していた。また自分が身体で得た快の経験をひとりでも多くの人に伝えたい欲求があり、地域で活動を行ったり、起業（自然食弁当販売・レストラン経営・アロママッサージ開業等）していた。よって妊娠中に培った身体感覚とその認識は、時を経て定着していることが明らかになった。「身体感覚活性化マザークラス」で体験し獲得した身体感覚は、その後の分娩、育児さらには生きる信念として定着し、女性とその家族の生き方に影響を及ぼしている。

これらの結果は、現在行っている「身体感覚活性化マザークラス」及び「医療者セミナー」に反映させ、その成果を学会で発表し、多くの医療者と議論を重ねている。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

（理由）インタビューを終え、現在はそのまとめを行っている段階である。

4. 今後の研究の推進方策

産み育てる力育成のための妊娠期教育モデルを作成する。さらにそのモデルを適用し検証する予定である。

5. 代表的な研究成果

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計3件）

- ① 安河内静子、佐藤香代、吉田静、石村美由紀、森純子、鳥越郁代、医療者が「身体感覚活性化マザークラス」を体験した

効果—体験録の分析から—、福岡県立大学看護学部紀要、7(2)63-71、2010、査読有

- ② 佐藤香代、「身体感覚活性化マザークラス」とケアリング—実践智としてのわざ—、日本看護科学学会誌、29(2)、64-66、2009、査読有

〔学会発表〕（計12件）

- ① 佐藤香代、森純子、山本有紀子、「身体感覚活性化マザークラス」体験が女性の生き方に与える影響、第24回日本助産学会学術集会、茨城、2010年3月。
- ② 佐藤香代、「身体感覚活性化マザークラス」参加体験が、その後の母子の健康に及ぼす影響—食体験を中心にして—、第35回日本看護研究学会学術集会、神奈川、2009年8月。

〔図書〕（計1件）

- ① 佐藤香代、梶井祥子、原清治、溝上慎一、渡部隆夫、細見吉郎、樋口和彦、浜本京子、大学コンソーシアム京都、絆—きずな—、母と子の絆は、地球を救う、2008、5-30。

〔その他〕

ホームページ

<http://www.fukuoka-pu.ac.jp/academics/nurse/index.html>